

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良さと強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第9号
(R8.9.4)

坂田小学校
校長 金城美奈子



～6年生 町長講話・庁舎見学～

8月28日、6年生は西原町役場を訪れ、町長講話と庁舎見学を行いました。町長講話では、西原町の教育やスポーツ、伝統芸能の振興をはじめ、町民の暮らしをよりよくするための様々な取組についてお話を伺いました。児童は、住民の願いや課題に向き合いながら、よりよいまちづくりを進める政治の働きについて学ぶことができました。

児童を代表して、園崎佐那さんはお礼の言葉で、「西原町は、教育やスポーツ、伝統芸能が盛んであること。さらに西原町を活性化させ、町の人たちの生活を支えるために、町役場は大型事業に取り組むなど、大切な役割を果たしていることが分かりました。」と学びを振り返りました。

今回の学習を通して、児童は政治や行政を身近なものとして捉え、西原町の一員として地域の未来について考える貴重な機会となりました。



9月25日(金)2校時～3校時・・・4年～6年は音楽発表会、1年～3年は授業参観日です！

～4年生 福祉講話実施～

9月2日、4年生を対象に西原町社会福祉協議会の下地紋子さんを講師としてお招きし、福祉講話を行いました。子どもたちは、「福祉」とは「ふだんの・くらしの・しあわせ」を支えることだと学び、身近な生活の中にあるさまざまな工夫について理解を深めました。講話では、目の見えない人がお札を見分ける方法や、シャンプーとリンスの容器、オセロの駒、ラップとアルミホイルなどに施された工夫を実際に触って体験し、誰もが安心して暮らせる社会づくりについて考えました。また、赤い羽根募金の役割や使い道についても学び、福祉が自分たちの生活と深くつながっていることに気付く貴重な機会となりました。本日は、校内での福祉体験(アイマスク・車いす)をし、福祉に対する理解をさらに深めていく予定です。



下地 紋子さん

学校栄養職員による食育指導 「おやつ目的と正しいとり方」

8月31日(月)に、6年生を対象に学校栄養職員の糸数絵里奈さん、山口理栄さんによる食育指導が行われました。今回のテーマは「おやつ目的と正しい摂り方」です。おやつ目的や好まれるおやつに含まれる砂糖・油・塩の量を知り、生活習慣病との関連を理解することができました。望ましいおやつとり方を考え、実践しようとする意欲を持つよい機会となりました。なお、本校では、定期的に学校栄養士による食育指導が行われています。これまでに実施された内容は、下記の通りです。

- 2年：「野菜のおうちとよさをしろう」
- 4年：「バランスの良い朝ごはんを考えよう」
- 5年：「沖縄の郷土料理の良さを知ろう」



山口 理栄さん

糸数絵里奈さん